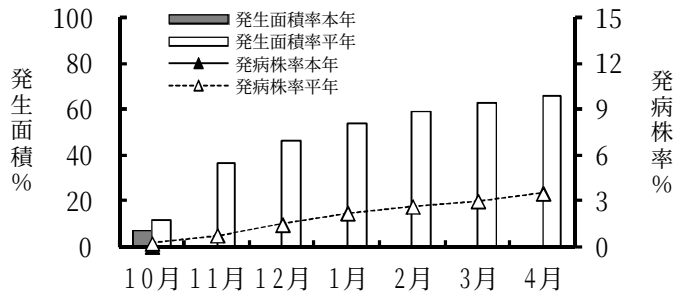


平成24年11月5日

高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

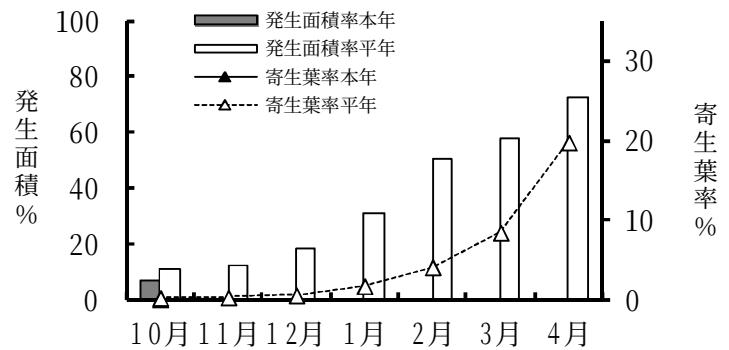
● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

黄化えそ病 発生量:やや少



キュウリ(抑制・促成栽培)における黄化えそ病の発生推移

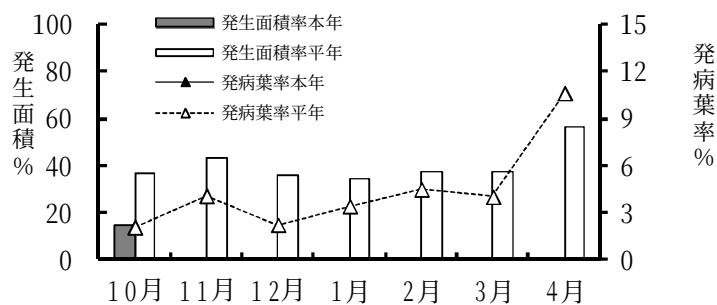
ミナミキイロアザミウマ 発生量:平年並



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

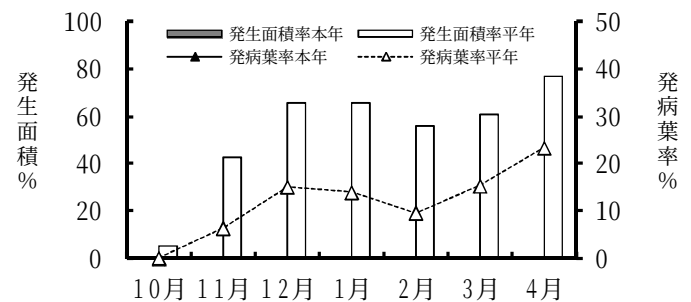
黄化えそ病は中西部～西部での発生は平年並、中央部では少発生となっています。媒介虫であるミナミキイロアザミウマは県全域で平年並～やや少ない発生となっています。発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫の防除も徹底してください。ミナミキイロアザミウマは生長点部にいる場合は見つけにくく、薬剤もかかりにくいことや、密度が高くなると防除が困難になることから、初期防除の徹底及び丁寧な散布を心がけてください。

うどんこ病 発生量:少



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

べと病 発生量:少



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるべと病の発生推移

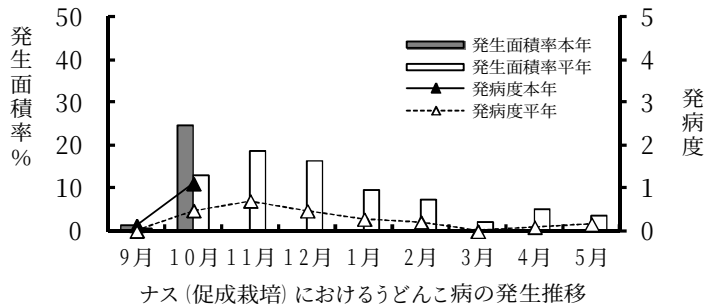
うどんこ病は西部で平年並、全体的には平年に比べ少ない発生で推移しています。べと病は県西部で平年並、その他の地域ではやや少～少なめの発生となっています。うどんこ病、べと病ともに蔓延すると、薬剤散布による防除は困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

平成24年11月4日

高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

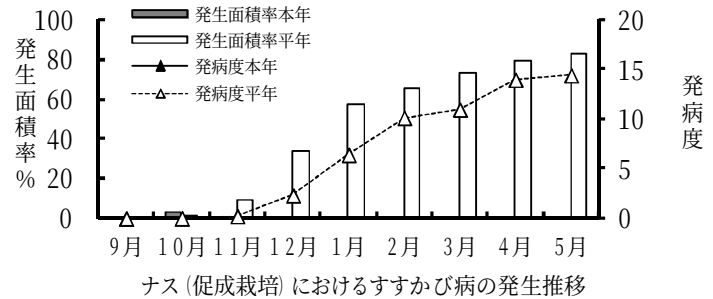
● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量:多



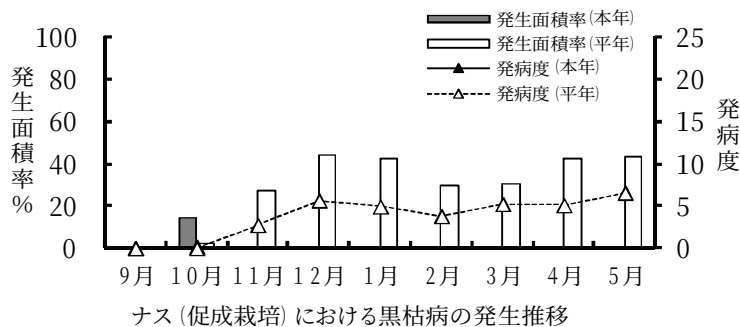
県東部と中央部で多発生となっています。今後の気象が低温気味で、晴天が続くと予想されていることから、病勢の進展に注意し、早期に防除を行ってください。

すすかび病 発生量:多



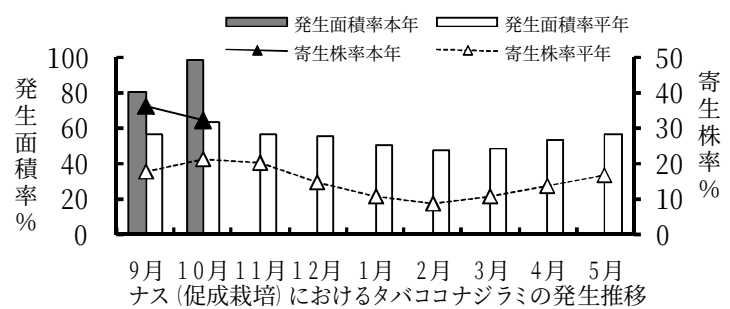
県東部のみ多発生となっており、発生面積はまだ少ないですが、例年11月より発生が増加しますのでご注意ください。

黒枯病 発生量:多



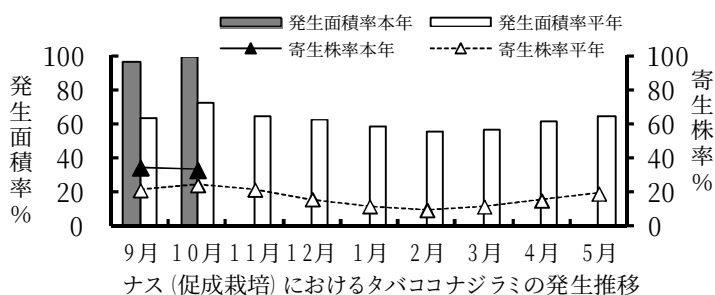
県東部で発生が多くなっています。今後の気象予報では、気温はやや低めから平年並で推移し、晴天日が多いと見込まれています。発生を助長する気象条件ではないと思いますが、例年11月から増加しますので、発病に注意してください。

ミナミキイロアザミウマ 発生量:平年並



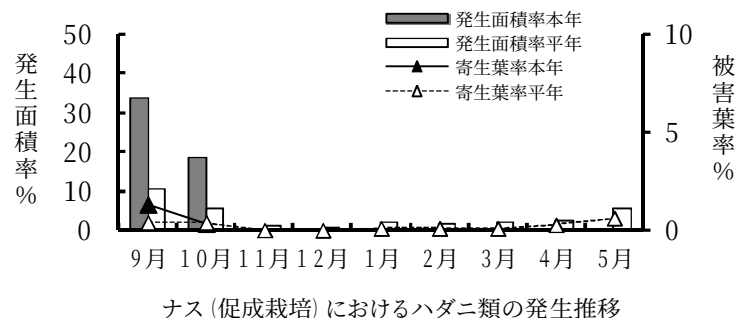
ほとんどの調査ほ場で発生が見られおり、特に天敵の定着が悪いほ場では、高い密度の発生が見られました。今後、本虫の密度が高いほ場では、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になると思われます。

タバコナジラミ 発生量:多



全てのほ場で発生が見られていますが、寄生株数は高くなく、天敵導入ほ場では成虫がわずかに見える程度の発生です。増加が早いので、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除により高密度にならない様に気をつけてください。

ハダニ類 発生量:多



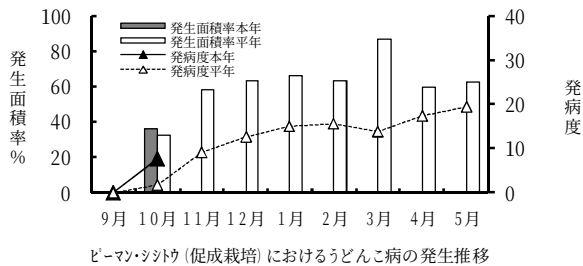
県東部、中央部で多発生となっています。発生をよく観察し初期防除に努めてください。天敵導入ハウスでは薬剤の選定に留意してください。

平成24年11月5日

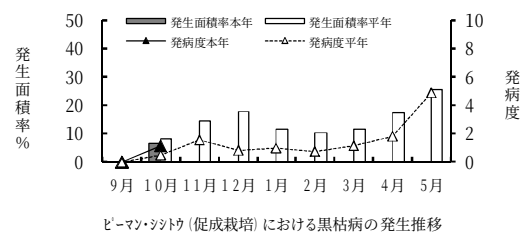
高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン(東部・中央部・中西部)

うどんこ病 発生量: 平年並

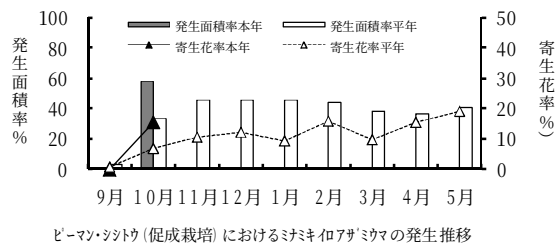


黒枯病 発生量: 平年並

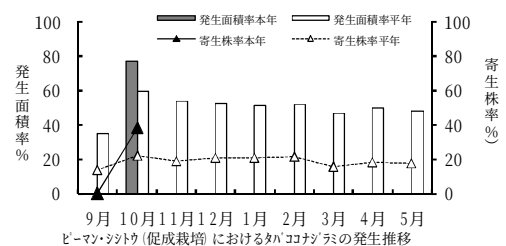


うどんこ病は県東部と中西部でやや多発生となっています。また、黒枯病は多発傾向であった昨年に比べると発生は少なく、全般に平年並みの発生となっていますが、明らかな増加傾向にあるハウスも見受けられます。両病害とも蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。散布の際は下葉や葉裏へのかけ残しのないように丁寧に散布してください。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや多



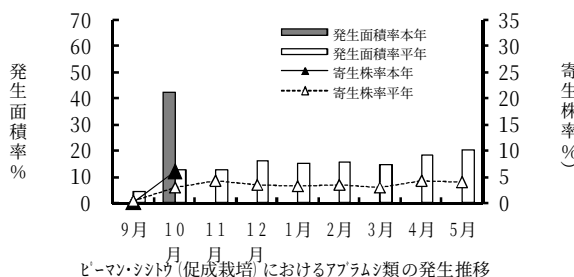
タバココナジラミ 発生量: 平年並



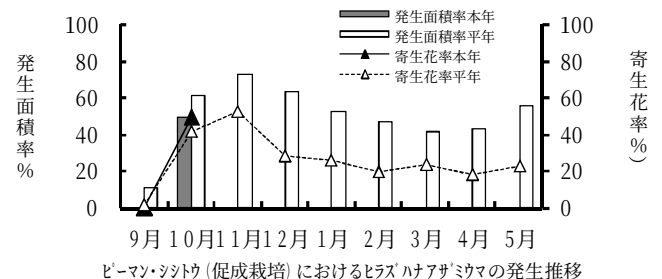
県中央部で多発生、全般的にもやや多発生となっています。天敵の定着の悪い場合には、初期防除を徹底するとともに、薬剤のローテーションを行い抵抗性の発達を回避してください。

東部では多発生、全般的には平年並みの発生で推移しています。スワルスキーカブリダニの定着状況にもよりますが、成虫のみが見られる場合には、特に問題とはならないと思われます。

アブラムシ類 発生量: 多



ヒラズハナアザミウマ 発生量: 平年並



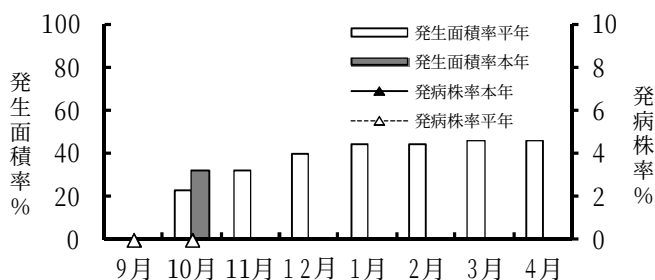
アブラムシ類は県全域に多発生で、今後もその傾向が続く見込みです。ヒラズハナアザミウマは県西部でやや多めの発生ですが、全体的には平年並です。いずれも密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。天敵導入ハウスでは、天敵の定着までは薬剤の散布は極力控え、散布する場合は影響の少ない農薬を選定しましょう。また、農薬だけでなく粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。

平成23年11月5日

高知県病害虫発生予察10月月報及び予報第8号(11月) 野菜類ダイジェスト版

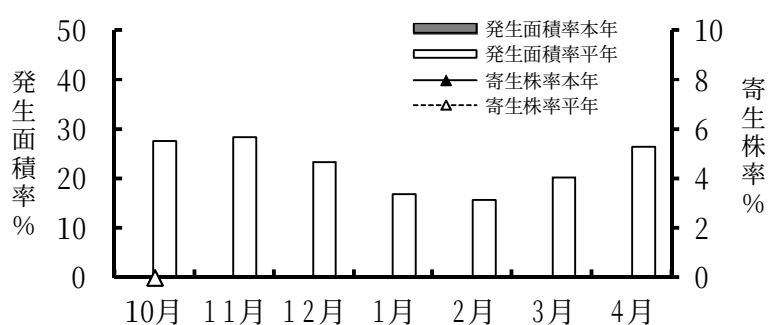
● 促成トマト(中央部)

トマト黄化葉巻病 (TYLCV) 発生量: やや多



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

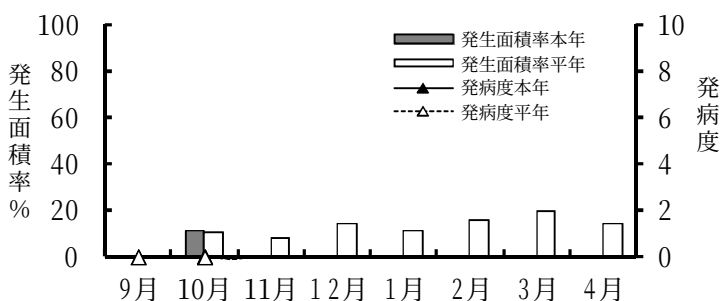
タバココナジラミ 発生量: 少



トマト(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

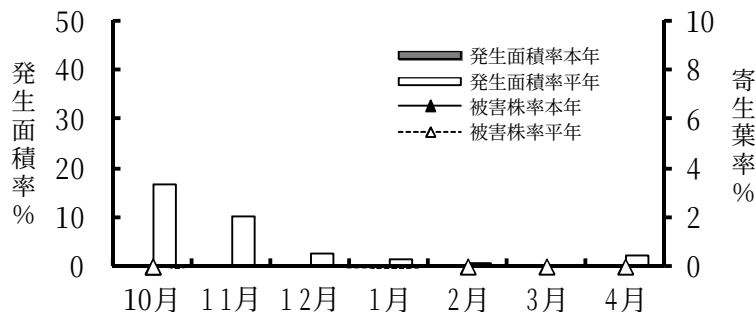
トマト黄化葉巻病の媒介虫であるタバココナジラミの発生は平年に比べ少発生となっていますが、トマト黄化葉巻病は平年よりやや多発生となっています。発病株は感染源になりますので見つけ次第除去し、タバココナジラミが発生している場合は防除しましょう。また、併せて粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。

すすかび病 発生量: 平年並



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

ハスモンヨトウ 発生量: 少



トマト(促成栽培)におけるハスモンヨトウの発生推移

すすかび病が一部のほ場で発生しています。天候により急拡大することがあるので注意してください。ハスモンヨトウについては巡回調査ではほとんど観察されませんでしたが、今後も食害などが見られないか注意してください。